

さかい輪

かわら版

第 11 号

坂井輪中学校区まちづくり協議会だより

災害への備え…大丈夫ですか??

いつ起こるか分からない地震・集中豪雨などの自然災害に備え、日頃より、危機意識を持ち、また、地域間での連携を深め、災害に対する知識を学ぶことで、万が一の際、お互いが助け合い、危機を乗り越える【地域力】が発揮されます。

まちづくり協議会では、昨年度までの「防災・防犯部」を、「防火防災部」・「防犯・交通安全部」に細分化し、より専門的に、機動力を活かした活動ができるよう専門部の一部見直しを行いました。

今回の、かわら版11号では、今年度新設された「まち協」の防火防災部の主な活動について紹介します。

平成16年の東日本大震災、そして平成19年の東日本大震災で県内の被災地では、大きな被害を受け、また、平成23年の東日本大震災は、想像を絶する津波により、数多くの尊い命が犠牲となりました。また、平成10年の新潟豪雨では、冠水被害により都市機能が完全に麻痺する事態となりました。防災への意識・知識を涵養し、備えることが大切です。

今年度、まちづくり協議会では、7月28日(火)、小中学生115人が参加した防災バス遠足を実施し、中越地震で被災地となった小千谷市・旧山古志村を訪問し、現地実習を行いました。8月18日(火)には、坂井輪中学校にて、「防災についてのワークショップ」を実施、10月4日(日)には、坂井輪レスキュージュニアチーム養成講座を実施し、AEDの使用方法、応急担架の作成方法、初期消火の訓練を行いました。そして、10月18日(日)、坂井輪連合自主防災会と共催の防災訓練を実施しました。避難所運営についてのグループワーク・濃煙体験・初期消火・炊き出し訓練を行い、また、坂井輪レスキュージュニアチームによるAED使用訓練の成果を、発表しました。

これらの取り組みを通じ、参加された方1人1人が、地域防災の在り方について考えるきっかけになればと思います。個々の力に限りはありますが、地域の力は無限大です。備えあれば憂いなし。まちづくり協議会は、今後も防災意識向上のための取り組みを行いますので、多くの方から参加いただきたいと思ひます。

小中学生が楽しく学ぶ防災バス遠足
(平成27年7月28日(火))

防災についてのワークショップ
(平成27年8月18日(火))



裏面もご覧ください。

坂井輪レスキュージュニアチーム養成講座(平成27年10月4日(日))



AED使用訓練



応急担架の作成訓練



地域防災訓練(平成27年10月18日(日))

開会式の様子



AED使用訓練演習



濃煙体験



初期消火訓練



避難所運営

グループワーク